



2026年8月14日

各 位

会 社 名 株式会社ライドオンエクスプレスホールディングス
代表者名 代表取締役社長 江 見 朗
(コード番号:6082 東証スタンダード)
問合せ先 取締役副社長 渡 邊 一 正
(TEL. 03-5444-3625)

2027年3月期 通期連結業績予想に関するお知らせ

当社は2026年5月15日に開示しました「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2027年3月期(2026年4月1日～2027年3月31日)の通期連結業績予想について決定しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2027年3月期通期連結業績予想数値(2026年4月1日～2027年3月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	—	—	—	—	—
今 回 発 表 予 想 (B)	23,323	753	742	392	39円97銭
増 減 額 (B - A)	—	—	—	—	—
増 減 率 (%)	—	—	—	—	—
(参考) 前期実績 (2026年3月期)	23,833	879	1,277	699	71円48銭

2. 業績予想公表の理由

2026年5月15日に開示しました「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において、緊迫化する中東情勢の長期化に伴うエネルギー供給の不安定化や原油価格の高騰、それに伴うマグロをはじめとする主要食材及び容器・紙材等の資材価格の急激な変動により、売上原価、販売費及び一般管理費に与える影響を合理的に算定することが困難であったため、2027年3月期(2026年4月1日～2027年3月31日)の通期連結業績予想は未定としておりました。

しかしながら、当第1四半期連結累計期間において、主要食材及び資材の調達単価に一定の落ち着きが見られたことに加え、2026年10月に実施予定のメニュー価格の改定効果及び調達の見直しによるコスト抑制効果の試算を行うことができました。本業績予想の算定にあたりましては、これらの要因に加え、当社グループの持続的な成長に向けた経営資源の配分として、蕎麦業態である最上製麺の出店拡大に伴う投資の影響等も織り込んでおります。

また、当社グループの運営する主要ブランドである宅配寿司「銀のさら」は、行事やお祝い事な

ど特別な日に食されることが多い「寿司」といった特性から、お盆や年末年始等に売上が集中する傾向があります。そのため、当社グループの営業利益におきましても、特に年末年始にあたる12月や1月に集中し、第3四半期から第4四半期にあたる下期（10月～翌年3月）に利益が大きく偏る下期偏重の特性があります。

以上により、今後の業績に与える影響を現時点で入手可能な情報に基づき合理的に算定することが可能となりましたので、通期の連結業績予想を公表いたします。なお、期中における短期的な変動要素が大きいことから、通期業績予想のみを開示しております。

（注）上記の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上